

令和4年度第6回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和4年9月21日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 大学院応接室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長）
石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）
オブザーバー：市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）
事務局：山田 涼子（感染症対策推進課 技師）
今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）
岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題 （進行：大西委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項
- (4) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○梅毒（特に早期顕症）における背景要因、増加について（継続）

<事務局から>

・女性の早期顕症梅毒患者について、2021年以降、全国的にその報告数は増加傾向にあるなか、岐阜県は低い報告数を維持していました。しかし2022年第3四半期の報告数は急増していることから、2022年に入ってから同病に対するリスクコントロールが低下している可能性が考えられます。

<委員から>

- ・感染予防の啓発を積極的に行う必要がある。
- ・若い世代にむけて、SNSを利用した感染予防の啓発を行えないか。